



2023 年 7 月 3 日

株式会社 ABEJA

(コード番号：5574 東証グロース)

各 位

## ABEJA、ABEJA Platform 上の大規模言語モデル 「ABEJA LLM Series」の周辺領域のサポートを拡大

～ 顧客企業の課題解決にアプローチする LLM の構築および運用を目的に、より広範囲にわたり支援 ～



人と AI の協調により「ゆたかな世界を、実装する」株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」）は、ABEJA Platform 上の大規模言語モデル(Large Language Model、以下 LLM)である「ABEJA LLM Series」に関する戦略策定や BPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）など周辺領域のサポートをより広範囲に実施することといたしましたので、お知らせいたします。

ABEJA は、2018 年より Generative AI（生成 AI）の一つである LLM における研究開発を進めており、2023 年 3 月以降は、「ABEJA LLM Series」を ABEJA Platform に搭載し、顧客企業に提供してまいりました。

(<https://www.abejainc.com/news/20230316/1>)

このたび ABEJA は、顧客企業の基幹業務やサービスにおける LLM の活用を目的に、「ABEJA LLM Series」によるサポートの範囲を拡大いたしました。今回のサポート拡大に伴い、今後、ABEJA は、顧客の基幹業務における LLM の実装を前提とした戦略策定ならびにビジネスプロセスの構築などのビジネスプランニングや人材開発、AI 倫理コンサルティングなど、サービス単体の導入に限定されない、広範囲かつ実用的なサポートもあわせて提供してまいります。



## 背景

現在、LLM をビジネスに活用しようとする動きは急速に加速しています。一方で、LLM をビジネスプロセスに組み込み、実用的に活用している企業はほぼ存在しておりません。ABEJA は、その要因は、LLM そのものではなく、導入に際して発生する課題が多いにも関わらず周辺領域におけるサポートが不十分であることと認識しております。現在、LLM の研究開発に実績があり、LLM の業務適用ノウハウやナレッジを持った企業は限られており、かつ LLM の活用を前提とした BPR に関する事例はほとんど公開されていない状況にあります。LLM をビジネスで活用するためには、課題の設定に始まり、扱うべきデータを特定し、取り扱い方法を決定する必要があり、ビジネスや課題に合わせたフローの構築やガバナンスの整備など、多岐にわたるプロセスを複合的に構築することが求められます。

LLM は、そのインターフェースが自然言語となることから、業務プロセスに組み込みやすい DX の手法としても注目されており、DX の進捗が著しくない企業の大きな起爆剤になることが示唆されています。ABEJA がこのたび提供を開始した、LLM の周辺領域に関するサポートは、LLM の導入に際し必要不可欠な領域であり、本サポートの提供が、エンタープライズ企業の基幹業務における LLM の実装を加速するソリューションであると認識しております。

## 概要

ABEJA は、従来「ABEJA LLM Series」を ABEJA Platform に搭載し、商用サービスとして顧客企業に提供してきました。しかし、多くの企業においては、LLM の運用以前に、LLM の実装を前提とした戦略策定やビジネスプロセスの構築について、自社で対応するには難易度が高く、ABEJA Platform に搭載された「ABEJA LLM Series」を活用し実運用を始める前段階のフェーズに障壁が生じています。

こうした状況を踏まえ、ABEJA は、LLM の活用を支援すべく、「ABEJA LLM Series」に関する周辺領域のサポートをより広範囲に拡大させ、顧客企業のニーズを具現化する LLM の活用を実現する戦略策定やビジネスプロセスの構築など、一連の顧客支援を開始いたします。

また、ABEJA は、ミッションクリティカル領域における ABEJA Platform による AI 活用を強みとしており、「ABEJA LLM Series」についてもまだ利用が積極的ではないミッションクリティカル領域への適用が、顧客企業の DX にとって重要であり、テクノロジーの力で産業構造を変革するというミッションの実現には不可欠だと確信しております。

今後、ABEJA は、顧客企業の LLM の活用に関する全方位にわたるサポートを提供することで、顧客企業に LLM を安心して導入いただける環境の提供、およびより ROI の高い活用方法の提案を推進してまいります。

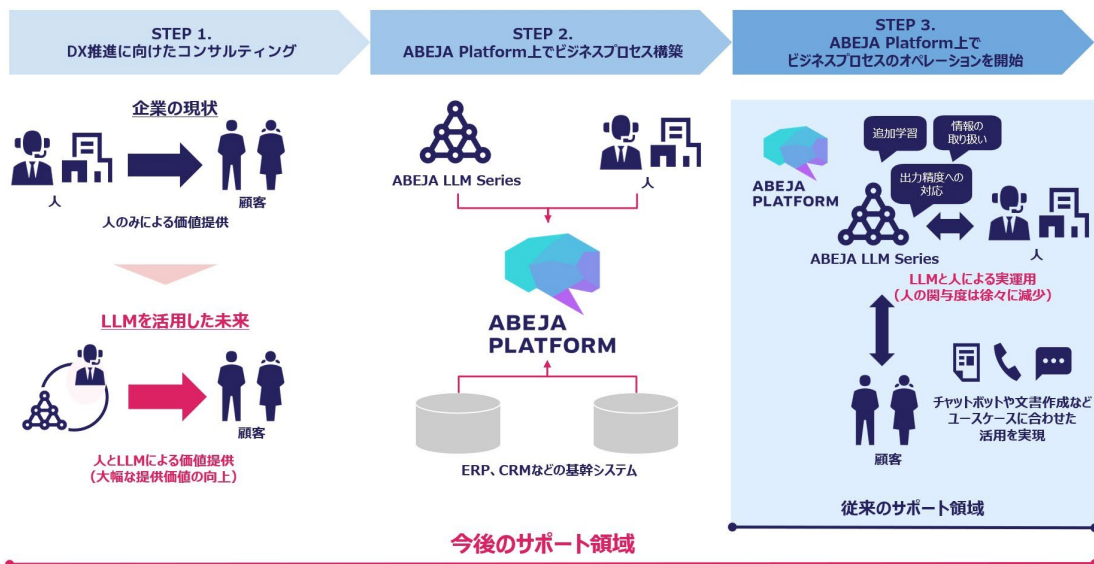


デジタル版EMS：顧客はABEJA Platform上で要望に応じた製造ラインを構築し、そのラインを使って製造を行う

製造業にたとえると



ABEJAのビジネスにおいて行う業務



ABEJA は、引き続き本領域における研究開発を進めるとともに、今後も、顧客企業のデジタル変革のあらゆるニーズに先んじて応えるべく、常に先端技術を商用化することで、テクノロジーの力で産業構造を変革するミッションの実現をすすめてまいります。

なお、本件による今期の業績へ与える影響は軽微と見込んでいます。



## ■ 株式会社 ABEJA について

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念とし、「ABEJA Platform」を基盤に顧客企業の基幹業務のプロセスを変革し、ビジネスの継続的な収益成長の実現に伴走する「デジタルプラットフォーム事業」を展開しています。2012 年の創業時より ABEJA Platform の研究開発を進めており、これまで多種多様な業界・業態の 300 社以上のデジタル変革を ABEJA Platform 上で実現してきました。また、「Human In the Loop」をはじめとする高度なノウハウやアプローチを用いて、デジタル変革に必要不可欠な「人と AI の協調」を実現し、戦略的かつ効率的に顧客の基幹業務を変革し、さらにはビジネスモデルの革新に取り組んでいます。

本 社：東京都港区三田一丁目 1 番 14 号 Bizflex 麻布十番 2 階

設 立：2012 年 9 月 10 日

代 表：代表取締役 CEO 岡田 陽介

事 業：デジタルプラットフォーム事業

URL：<https://abejainc.com>